

重 日本車両

NCC 26  
(吊り走行タイプ)



NTC29  
(アウトリガタイプ)



# NISSHA EPOCA **MINI**

NCC 26 NCC 29 NTC 20 NTC 25 NTC 29 エポカミニシリーズ

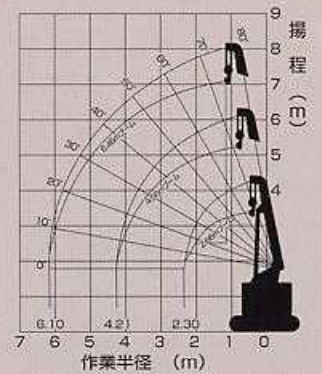


日車エポカミニで、  
施工コスト削減。



軽くてコンパクトなボディで  
狭い場所・低い所での  
高作業性と進入口!!

■作業範囲図



注意: 本図ではブームのたわみは含んでいません。

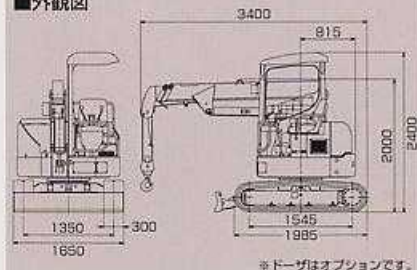
■定格総荷重表

作業半径 (m)	2.6mブーム		4.56mブーム		6.45mブーム	
	静止吊り	走行吊り	静止吊り	走行吊り	静止吊り	走行吊り
1.2	2.6	1.3	2.6	1.3	2.6	1.2
1.5	2	1	2	1	2	1.2
1.8	1.5	0.75	1.5	0.75	1.2	1.2
2.0	1.2	0.6	1.2	0.6	1.2	1.2
2.30	0.96	0.48	0.96	0.48	0.96	0.96
2.5			0.85	0.42	0.85	0.85
2.8			0.73	0.36	0.73	0.73
3.0			0.64	0.32	0.64	0.64
3.2			0.57	0.28	0.57	0.57
3.5			0.5	0.25	0.5	0.5
4.0			0.4	0.2	0.4	0.4
4.21			0.36	0.18	0.36	0.36
4.5					0.33	0.33
5.0					0.28	0.28
5.5					0.24	0.24
6.1					0.21	0.21

注意

1. 本図はつり具など(フック重量30kg)の重量を含んだ重さです。
2. 本表の作業半径は負荷時のたわみを含んだ実際の作業半径を示していますので必ず作業半径を基準にして作業を行って下さい。
3. 各ブームの長さを少しでも越えた時は次のブームの長さで作業して下さい。

■外観図



**NCC 26**  
2.6t×1.2m

吊り走行タイプ

- 吊り走行で、大型クレーン
- 機械質量2.9tと軽量で  
輸送コスト削減。(NC
- 車幅内旋回(NCC26)と  
後方小旋回(NCC29)で、  
狭い現場もスム





# NCC 29

2.9t × 1.5m

## ●余裕の作業性。

### ◆後方小旋回

本体後部は車幅内で旋回できるので後方の安全性はより向上し、常にブームの操作や前方の動きに集中でき、高い作業性を実現します。



### ◆ワイドな作業範囲

水平方向9.27メートル(最小負荷時)、垂直方向10.6メートルを実現。クラストップレベルのワイドな作業範囲を確保しています。

### ◆クレーン専用機

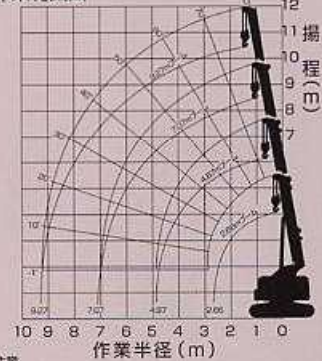
総吊上荷重2.9t、総質量5.2tのクレーン専用機。高い機動性、優れた作業性、そして安定性は専用機ならではのものです。

※キャビン・ドーザは、オプション仕様です。



## EPOCAMINI シリーズ NCC 29

### ■作業範囲図



注意

1. 本図はブームのたわみは含んでいません。
2. 7.07Mブームは3段目ブーム伸長量が ■マーク位置での状態です。

### ■定格総荷重表

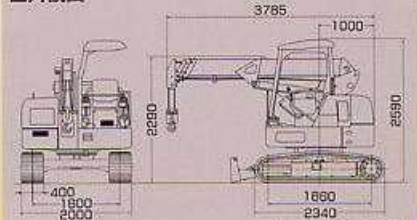
単位: t

作業半径 (m)	2.66mブーム		4.87mブーム		7.07mブーム		9.27mブーム	
	静止吊り	走行吊り	静止吊り	走行吊り	静止吊り	走行吊り	静止吊り	走行吊り
1.5	2.9	1.45	2.9	1.45	2.3	1.0		
2.0	2.1	1.05	2.1	1.05	1.7	1.0		
2.5	1.5	0.75	1.5	0.75	1.2	1.0		
2.68	1.3	0.65	1.3	0.65	1.1	0.9		
3.0			1.1	0.55	0.9	0.77		
3.5			0.9	0.45	0.75	0.62		
4.0			0.75	0.37	0.65	0.52		
4.5			0.65	0.32	0.55	0.45		
4.87			0.6	0.3	0.51	0.41		
5.0					0.49	0.4		
5.5					0.44	0.35		
6.0					0.39	0.32		
6.5					0.36	0.29		
7.07					0.33	0.26		
7.5						0.25		
8.0						0.23		
8.5						0.21		
9.27						0.2		

注意

1. 本図はつり具など(フック重量30kg)の重量を含んだ値です。
2. 本表の作業半径は負荷時のたわみを含んだ実際の作業半径を示していますので必ず作業半径を基準にして作業を行ってください。
3. 各ブームの長さを少しでも越えた時は次のブームの長さで作業して下さい。
4. 7.07Mブームとは3段目ブーム伸長の ■マークが2段目ブームより出た状態です。

### ■外観図



※ドーザはオプションです。

## 余裕のマシーン。

- 転倒防止警報装置を標準装備。
- 豊富なオプション群。

- ドーザ ●鉄キャタ
- キャビン(NCC29のみ)
- クーラ(NCC29のみ)
- 巻過停止装置

高く、強く、しなやかに、  
ゆとりの作業を実現!!



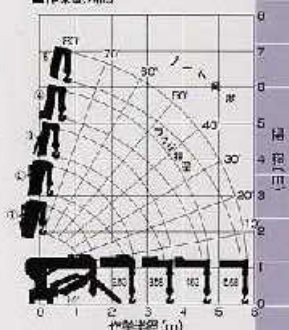
# アウトリガタイプの頼もしいマシン。

## NTC 20

2.02t×1.5m

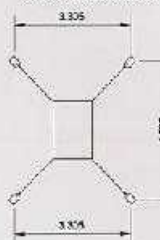
- 新機構の油圧モータ駆動走行方式。
- 全幅690mmのスリムなボディ。

■作業範囲図

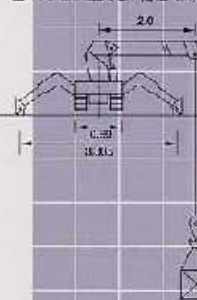


※この図は概算の図で、フォームにより多少変わります。

■最大突出寸法(m)  
(アウトリガセクタ展開時)



■NTC 20 最大地下掘程(m)



## NTC 29

2.93t×2.25m

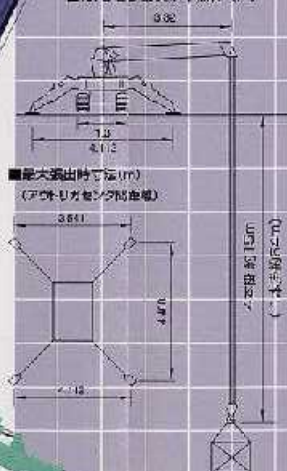
- 分解して索道・ヘリコプタで運搬ができます。
- 排出ガス対策型エンジン搭載。

■作業範囲図

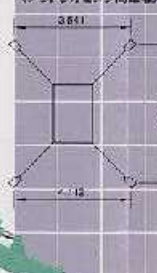


※図は概算の図で、フォームにより多少変わります。

■NTC 29 最大地下掘程(m)



■最大突出寸法(m)  
(アウトリガセクタ展開時)



- 過負荷防止装置はこれからの必需品 (NTC29のみ)
- 外部警告灯 (オプション)



ANTC 20

- 過負荷防止装置本体 (オプション)



■NTC 29

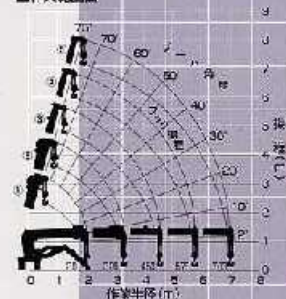
※作業範囲図の図は概算の図で、フォームにより多少変わります。

## NTC 25

2.52t×1.5m

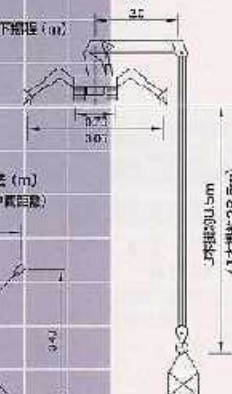
- 走行時運転者の安全を守るセーフティクランチ付。
- 7.03mの作業半径と約7.2mの地上揚程。
- 最大地下掘程28.5m。

■作業範囲図

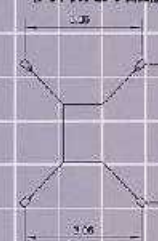


※この図は概算の図で、フォームにより多少変わります。

■NTC 25 最大地下掘程(m)



■最大突出寸法(m)  
(アウトリガセクタ展開時)



●ラジコン (NTC20, 25, 29オプション)



■ANTC 29 仕様欄あり、要領は変わります。



■クレーン主要諸元

\*印は負荷により変化します。単位は国際単位系のSI単位表で、( )内は従来表示です。

形式	吊り走行タイプ			アウトリガタイプ		
	NCC26	NCC29	NTC20	NTC25	NTC29	
最大吊上荷重 t/m	2.6×1.2	2.9×1.5	2.02×1.5	2.52×1.5	2.93×2.25	
最大作業半径 m	6.1	9.27	5.68	7.03	12.1	
最大地上揚程 m	7.1	10.6	約6.1	約7.2	約11.8	
フック巻上速度* m/min	9.9	18	7.7	6	11.5	
巻上ロープ m	φ8×70 6×ws(26)	φ8×74 6×ws(26)	φ8×34 6×ws(26)	φ8×34 6×ws(26)	φ8×73 6×ws(26)	
ブーム伸長速度* m/S	3.79/15	6.61/18	4.24/26	5.04/33	8.79/33	
起伏角度/時間* °/S	0°~80°/14	-1°~80°/12	2°~80°/22	2°~75°/14	3°~76°/13	
旋回角度/速度* min <sup>-1</sup> (rpm)	2	1.5	1.7	1.6	2.3	
アウトリガ				1段屈折2段張出油圧シリンダ直押式	2段張出油圧シリンダ直押式	
エンジン kw/min <sup>-1</sup> (ps/rpm)	いすゞ 3LD1-PA04S 17.7/1950(24/1950)	いすゞ 4LE1-PA03 30.9/2100(42/2100)	ヤンマー-GA300SECK 7.7/3000(10.5/3000)	ロビンDY41D 5.9/3000(8/3000)	ヤンマー-3TNE74 13.2/2400(18/2400)	
登坂能力 %	57	36	36	36	40	
走行速度* km/h	1速2.8 2速4.1	1速3.0 2速4.5	2.4	4.88	2.4	
クローラ接地長 mm	1545	1860	1044	1050	1720	
接地圧 kPa(kgf/cm <sup>2</sup> )	31.6(0.32)	34.3(0.35)	39.2(0.4)	39.2(0.4)	34.1(0.34)	
全長×全幅×全高<移動時> mm	3400×1650×2400	4020×2000×2600	1980×690×1340	2675×760×1530	4280×1300×1885	
機械質量 kg	2,985	5,200	1,520	1,580	3,345	
安全装置	転倒防止警報装置 ・荷重計・巻過警報装置	転倒防止警報装置 ・荷重計・巻過警報装置	荷重計・荷重指示計・油圧安全弁・油圧自動ロック装置・巻過警報装置・水準器	荷重計・荷重指示計・油圧安全弁・油圧自動ロック装置・巻過警報装置・水準器・傾斜警報装置・セフティクランチ・セフティバルブ	荷重計・角度計・油圧安全弁・油圧自動ロック装置・巻過警報装置	

■NTC20定格総荷重表 (アウトリガ最大張出時)

ブーム①、①+②

作業半径 (m)	1.5以下	1.8	2.0	2.5	2.53
定格総荷重 (t)	2.02	1.69	1.6	1.31	1.31

ブーム①+②+③

作業半径 (m)	2.53以下	3.0	3.5	3.58
定格総荷重 (t)	1.31	0.85	0.64	0.64

ブーム①+②+③+④

作業半径 (m)	3.58以下	4.0	4.5	4.63
定格総荷重 (t)	0.59	0.47	0.36	0.36

ブーム①+②+③+④+⑤

作業半径 (m)	4.0以下	4.5	4.63	5.0	5.5	5.68
定格総荷重 (t)	0.45	0.34	0.33	0.28	0.24	0.24

■NTC29定格総荷重表

●アウトリガ最大張出時

ブーム①、①+②

作業半径 (m)	2.0以下	2.275	2.4	2.7	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.57
定格総荷重 (t)	2.93	2.93	2.85	2.57	2.28	1.93	1.63	1.4	1.11	0.93

ブーム①+②+③

作業半径 (m)	2.15以下	2.7	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	7.0	7.77
定格総荷重 (t)	2.23	2.03	1.91	1.68	1.38	1.23	1.05	0.93	0.78	0.62	0.48

ブーム①+②+③+④

作業半径 (m)	3.6以下	4.0	4.5	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	9.94
定格総荷重 (t)	1.03	1.03	0.93	0.83	0.73	0.62	0.51	0.42	0.28

ブーム①+②+③+④+⑤

作業半径 (m)	4.5以下	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.1
定格総荷重 (t)	0.63	0.53	0.43	0.38	0.33	0.28	0.25	0.23	0.23

●アウトリガ中間張出時

ブーム①、①+②

作業半径 (m)	2.0以下	2.25	2.4	2.7	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.57
定格総荷重 (t)	2.93	2.93	2.85	2.57	2.28	1.91	1.47	1.08	0.7	0.61

ブーム①+②+③

作業半径 (m)	2.15以下	2.7	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	7.0	7.77
定格総荷重 (t)	2.23	2.03	1.88	1.56	1.23	0.91	0.65	0.47	0.39	0.3	0.26

ブーム①+②+③+④

作業半径 (m)	3.6以下	4.0	4.5	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	9.94
定格総荷重 (t)	1.03	0.95	0.83	0.71	0.43	0.28	0.18	0.15	0.15

ブーム①+②+③+④+⑤

作業半径 (m)	4.5以下	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.1
定格総荷重 (t)	0.63	0.53	0.43	0.28	0.18	0.15	0.13	0.1	0.07



●カタログ上の諸元、数値は水平堅土上の値です。NTC型は、アウトリガの位置状態、地面の状態により転倒する事もありますので十分注意してください。  
●定格総荷重表は、負荷時のたわみを含んだ実際の作業半径に基づいています。  
●定格総荷重表は、各ブームを少しでも伸ばした時は、伸ばしたブームを加えた作業半径の定格荷重で作業してください。

●各定格総荷重はフックブロックの重量を含んだ荷重を示します。  
●クレーン作業等には、小型移動式クレーン運転技能講習と、玉掛け技能講習の受講が必要です。  
●本カタログに掲載の仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。  
●本機の取り扱いに際しては取扱説明書の注意事項を必ずお守りください。

**日本車輛製造株式会社**  
機電本部

URL <http://www.n-sharyo.co.jp/>

- 本部/鳴海製作所  
〒458-8502 名古屋緑区鳴海町字柳長80 TEL(052)623-3311 FAX(052)623-4349
- 営業部  
〒458-8502 名古屋緑区鳴海町字柳長80 TEL(052)623-3312 FAX(052)623-4349
- 札幌営業所  
〒004-0802 札幌市清田区里塚二条六丁目5番60号 TEL(011)881-2021 FAX(011)882-2389
- 北日本営業所  
〒984-0011 仙台市若林区六丁の日西町8番1号 高喜センタービル5階 TEL(022)288-2530 FAX(022)288-2534
- 東日本営業所  
〒135-0042 東京都江東区木場一丁目4番5号 峰松LKビル5階 TEL(03)3645-4551 FAX(03)3645-4598
- 中部営業所  
〒458-8502 名古屋緑区鳴海町字柳長80 TEL(052)623-3314 FAX(052)623-4343
- 大阪支店  
〒530-0012 大阪市北区芝田二丁目7番18号 全日空ビル新館8階 TEL(06)6372-3251 FAX(06)6372-5886
- 九州営業所  
〒816-0079 福岡市博多区天神二丁目2番20号 協栄ジャパン福岡天神ビル6階 TEL(092)572-7332 FAX(092)572-7484

- 広島出張所  
〒734-0023 広島市南区東雲本町一丁目1番34号 TEL(082)284-9271 FAX(082)284-9272
- 高知出張所  
〒781-8105 高知市高須東町10番14号 TEL(089)884-0350 FAX(089)882-6483

■お取り扱い店